

115 アカアシチョウゲンボウ（ハヤブサ目）

Falco amurensis

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部からモンゴル北東部、中国東北部、朝鮮半島などで繁殖し、繁殖後は主にアフリカ南東部に渡るが、アジア南部でも少数が越冬する。日本では、春秋の渡りの時期に主に北海道と本州に渡来する。畑や水田など農耕地上空を速く羽ばたきながら飛び交い、主に昆虫や小鳥を捕食する。地上に降りてネズミやトカゲ、カエルなども食べる。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甕島列島、種子島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★明石市、★豊岡市、★丹波篠山市、★丹波市



写真提供：友田達也

(性別：不明)

※幼鳥

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局地的 繁殖	希少
									○



写真提供：友田達也

(性別：不明)

※幼鳥

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。

県内では主に5月と10月に記録がある。古い記録はなく、2007年10月豊岡市1羽が県内では初めての記録。春秋の渡りの時期に多くのタカ類の渡りに混じって上空を通過するため、見落とされていた可能性がある。個体数は極めて少なく局地的ではあるが、最近は農耕地に降りて採食行動をする個体も観察されている。今後の動向に注目する必要があるため、要注目ランクとした。

保護上の留意点

既知の生息地周辺の自然環境の保全が極めて重要。